取扱説明書 ―― M形埋込み形照明器具・高調波ガイドライン適合品 ―― 保管用

蛍光灯ダウンライト

（天井埋込み専用・一般屋内用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	適合ランプ	送り容量	適合電線	使用電圧／周波数
DF-2875	FHF32W×2灯	15A	VVFケーブル Φ1.6/2.0	AC100~242V (±6%) 50/60Hz
DF-2876	FHF32W×6灯			
DF-2879	FHF16W×4灯			
DF-2881	FHF32W×2灯			
DF-2882	FHF32W×6灯			

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❶　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⊘　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

施工上の注意

⚠警告

❶ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

❶ 電源の送り容量は最大15Aです。必ず15A以内で使用してください。
★最大容量を越えて使用すると端子部の異常過熱による火災の原因になる場合があります。

❶ 必ずVVFφ1．6またはφ2．0の単線のケーブルを使用してください。
★指定以外のケーブルを使用すると接触不良による過熱によって火災になる場合があります。

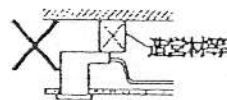
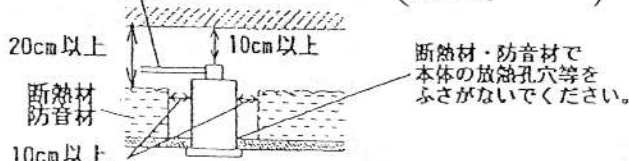
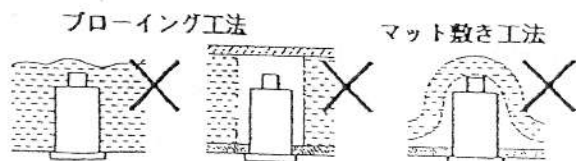
❶ 端子に差し込むケーブルの芯線は、真っ直ぐな線を正しく挿入してください。
★曲がった線やよれた線は、接触不良となり接触抵抗の増加を招いて火災の原因となる場合があります。

❶ 器具の取り付け部以外の外郭(可動範囲含む)が、天井内の造営材や空調ダクトなどの設備に触れないように施工してください。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。

⊘ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

造営材等

⊘ 天井埋込み専用です。壁面など天井以外の場所や傾斜天井には設置できません。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。

⊘ 住宅の断熱施工天井には使用できません。
★ブローイング工法・マット敷き工法の天井に取り付ける異常過熱し、火災の原因となります。

―住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法―

ブローイング工法

マット敷き工法

⊘ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❶ 必ずインバータの定格電圧を確認の上、適合電圧で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
高い電圧で使用すると、不点灯やチラツキなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

❶ この器具は周囲温度5℃～35℃で使用してください。
★過熱して発煙や火災の原因となることがあります。

⊘ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や、調光器、照明器具の故障の原因となります。

❶ ラジオ・テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。
★雑音や誤動作の原因となります。

使用上の注意

⚠警告

必ず指定されたランプを使用してください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
そのまま無理に使用を続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。

濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⚠注意

温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

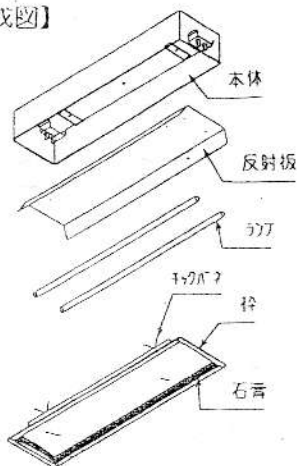
カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

点灯中や消灯直後の電球、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

ラジオ・テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
★雑音や誤動作の原因となります。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】

【付属品】

取扱説明書(本書) ・・・・・・1枚

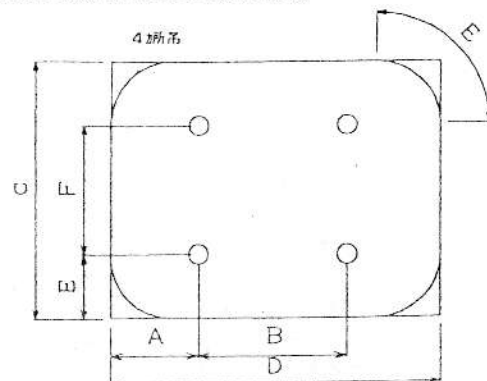
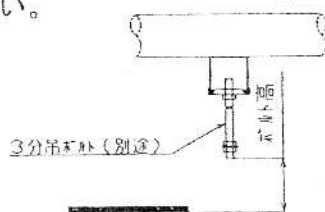
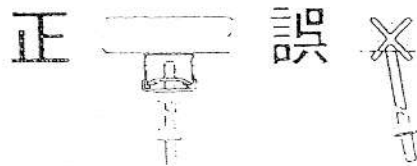
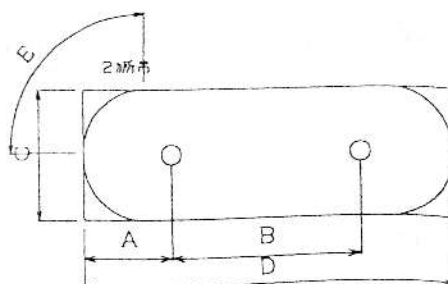
保証とアフターサービスについて ・・・・・・1枚

取り付け場所の確認

⚠警告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

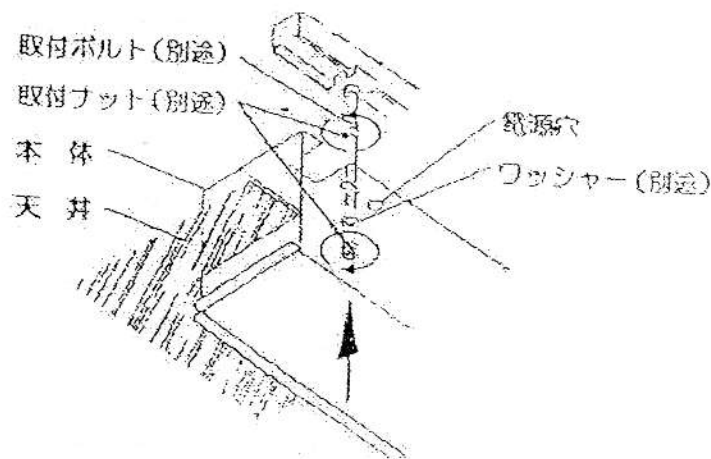
●器具を取り付ける前に

1.取付箇所が器具の重量に耐えるかどうか確認して下さい。
2.天井切込み穴および取付ボルト位置を確認して下さい。
3.取付ボルトはレースウエイ等を使用して必ず垂直に降ろして下さい。
4.取付ボルトの長さを調節して下さい。

正 誤

品名	重量(kg)	切込穴寸法C/D/E	取付ボルトA/B/E/F	ボルト高	種類
DF-2875	20	319×1252	226/800	178	2ヵ所吊
DF-2876	50	1252×1252	76/1100/226/800	255	4ヵ所吊
DF-2879	30	780/780/R165	190/400/190/400	150	4ヵ所吊
DF-2881	30	1310/380/R190	255/800	150	2ヵ所吊
DF-2882	50	1307/1307/R163	103.5/1100/253.5/800	205	4ヵ所吊

取り付け方　⚠注意　❶必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

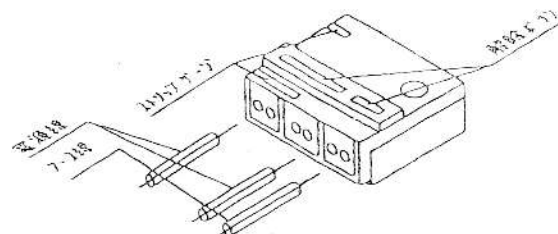
⚠警告❶ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

1. 本体を天井に取り付けます。

①電源線（アース線）を本体の電源穴より引き込みます。
②本体を取付ボルトに確実に取り付けます。

2. 電源線を接続します。

① 電源線を速結端子のゲージ（14mm）に合わせ剥きます。
② 電源線を差込穴に差込ます。
＊電源線を外す場合は、解除ボタンにマイナスドライバーなどを
　押し当てまっすぐに押し、電線を引張って下さい
③アースの線を差し込みます。

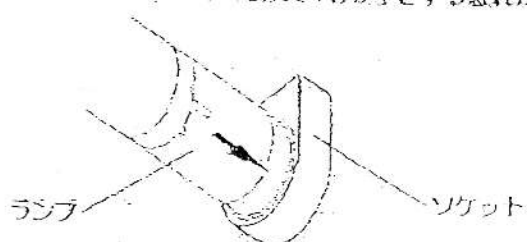
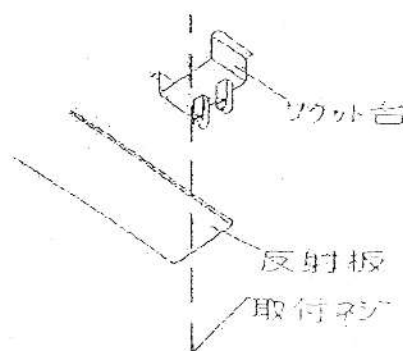
⚠警告

❶端子に差し込むケーブルは、必ずVVFΦ1.6またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。
●差込が不十分な場合接触不良により火災の原因となります。

3. 反射板を本体に取り付けます。

反射板の取付孔にあわせて取り付けます。

4. ランプをセットします。

ランプをソケットに片側より押し込みます。

⚠注意⊘ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れて「けが」をする恐れがあります。

5. カバー枠をセットします。

①Vバネを両側から指でつまみ、Vバネ受け金具に
　引っかけます

⚠注意❶ Vバネは相当な強度をもっています。
扱いにはじゅうぶん注意してください。
★Vバネの戻りによる「けが」や　器具破損の原因となります。

②引っかけた後、カバーを天井面に押し込みます。

⚠注意⊘ カバーを押し込むとき、アクリル部を押さないでください。
★傷や破損の原因となります。

石膏についてのご注意

石膏枠は、以下の点に御留意下さい。
- 石膏枠は直接手で触れないで下さい。
- わずかな衝撃でも石膏にキズが入る恐れがあります。取扱いには充分御注意下さい。
- 石膏表面が汚れた場合柔らかい布・ハケで掃除して下さい。しつこい汚れには、消しゴム・目の小さい紙ヤスリで、軽く擦るようにして下さい。
- 水では、決して拭かないで下さい。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON－OFF」操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を　：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。　★感電事故の原因となります。

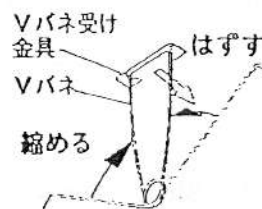
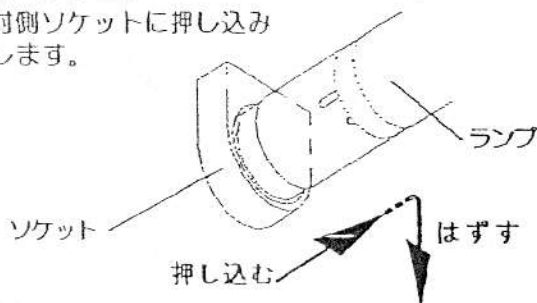
●ランプは乱暴に扱わないでください。　★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

1. スイッチを切ります。

2 カバー枠をはずします
① カバー枠の端をつかみ、カバー枠を引き下げます
② Vバネを両側から指でつまみ、Vバネ受け金具から6箇所はずします

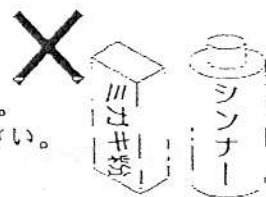
Vバネ受け金具
Vバネ
はずす
縮める

⚠注　意　Vバネは相当な強度をもっています
取扱には十分にご注意してください
★Vバネの戻りによる「ケガ」や器具破損の原因となります

3. ランプをはずします。
ランプを反対側ソケットに押し込みながらはずします。

4. ランプをセットします。
【取り付け方】の「4. ランプのセット」の項をご参照ください。

5. カバー枠をセットします。
【取り付け方】の「5. カバー枠のセット」の項をご参照ください。

◆お手入れのしかた

1　スイッチを切ります
2　石膏表面が汚れた場合柔らかい布・ハケで掃除して下さい。
しつこい汚れには、消しゴム・目の小さい紙ヤスリで、軽く擦るようにして下さい。
＊わずかな衝撃でも石膏にキズが入る恐れがあります。　取扱いには充分ご注意下さい。
3　水では決して拭かないで下さい。

ミガキ粉
シンナー

■こんな時には

ご使用中の器具に異常を感じた時には、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

スイッチを入れても点灯しない。	ランプは確実にセットされていますか。 ランプが切れていませんか。新しいランプと交換してみてください。
ランプがすぐ切れてしまう。	天井内の断熱材・遮音材は器具から離して設置されていますか。 (この器具は断熱材・遮音材で覆っての使用はできません。)
殺虫剤などの薬品をかけてしまった。	スイッチを切り、水に浸した布を固く絞って、薬品を充分拭き取ります。

★器具の交換については、販売店もしくは、最寄りの山田照明営業窓口にご相談ください。
★該当項目をチェックしても、症状が改善されない場合には、山田照明サービス受付窓口までお問い合わせください。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。